



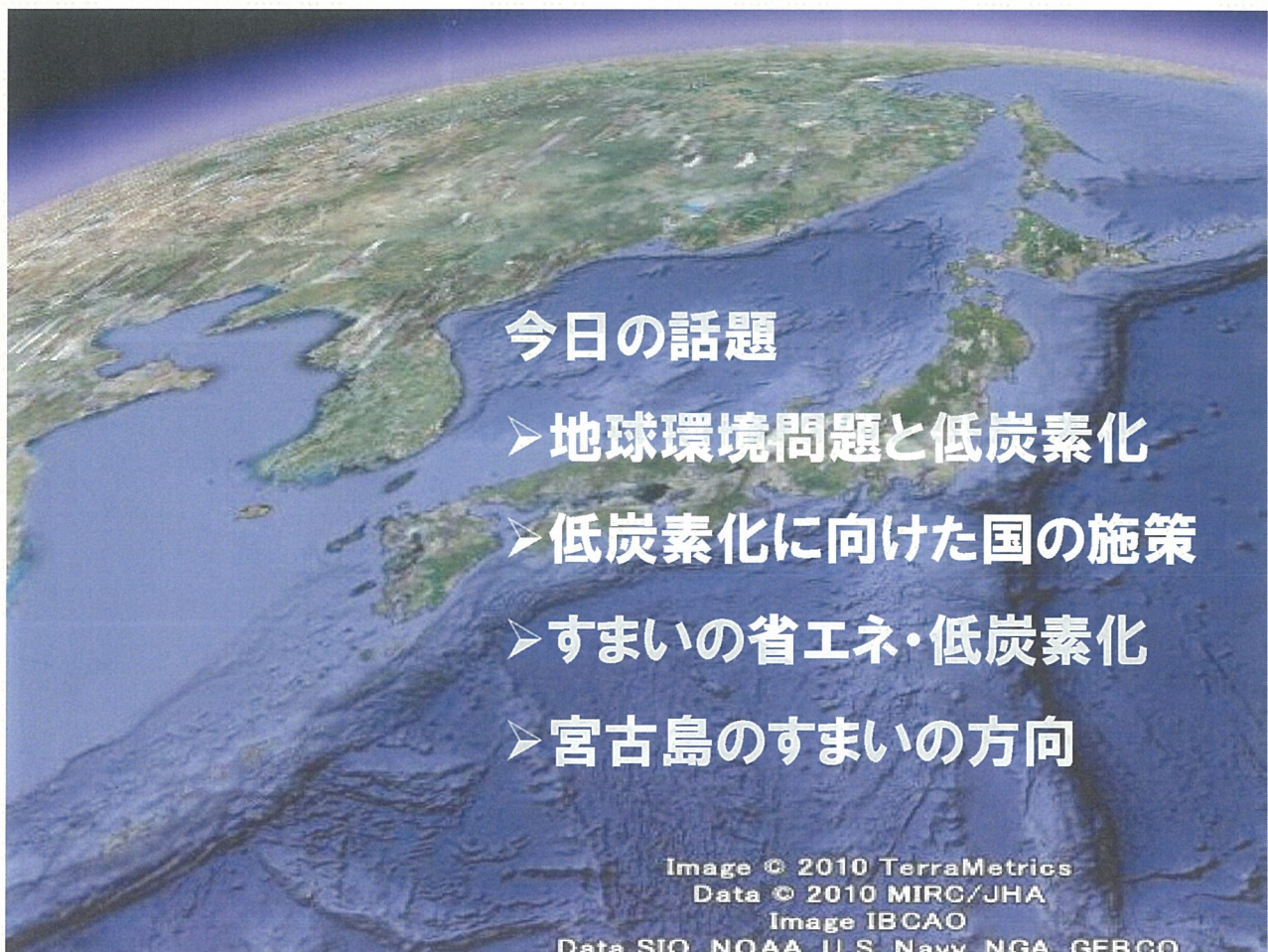
低炭素化と蒸暑地のすまいの方向

平成24年3月20日 宮古島市中央公民館

- 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部
北方建築総合研究所 環境科学部長

- 国土交通省 政策参与

鈴木 大隆

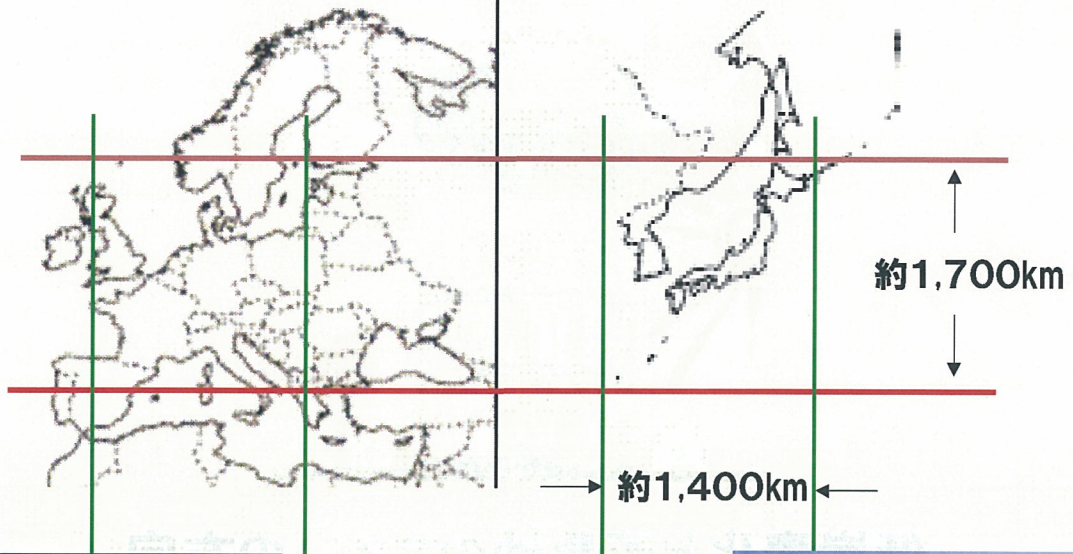


今日の話題

- 地球環境問題と低炭素化
- 低炭素化に向けた国の施策
- すまいの省エネ・低炭素化
- 宮古島のすまいの方向

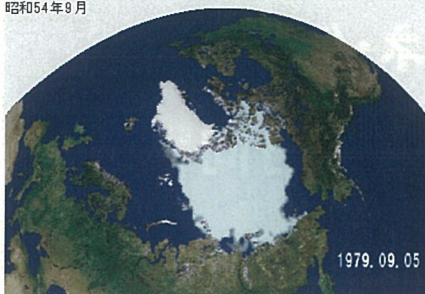
Image © 2010 TerraMetrics
Data © 2010 MIRC/JHA
Image IBCAO
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

日本…小さな国土面積 世界で最も多様な気候を有する



地球で起きている異常気象 身近で起きている異常気象

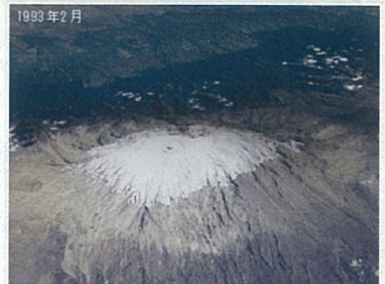
昭和54年9月



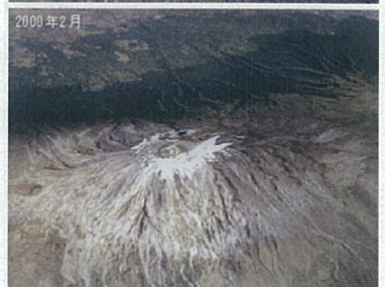
平成19年9月



1993年2月



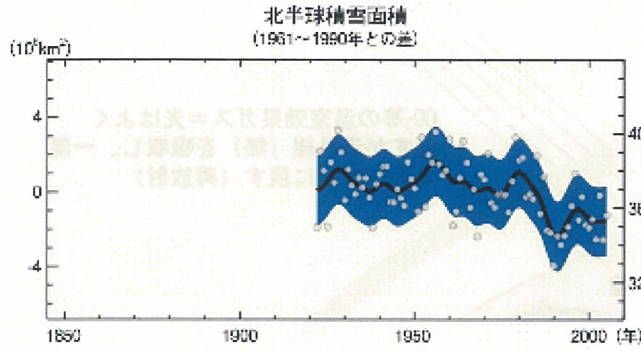
2000年2月



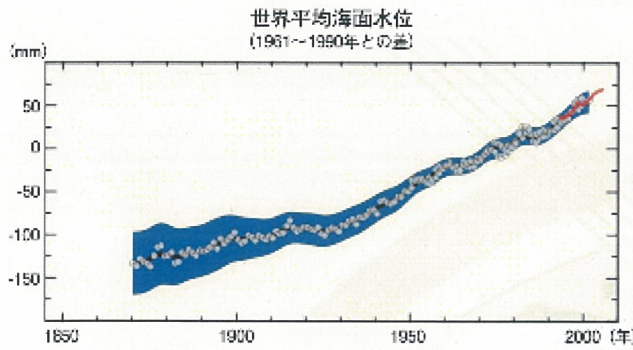
注：昭和54年の海氷分布はNASAの走査型多周波マイクロ波放射計（SMMR）、平成19年はJAXAの改良型高性能マイクロ波放射計（AMSR-E）による観測データ
出典：独立行政法人宇宙航空研究開発機構

出典：NASA
(<http://earthobservatory.nasa.gov/IOTD/view.php?id=8854>)

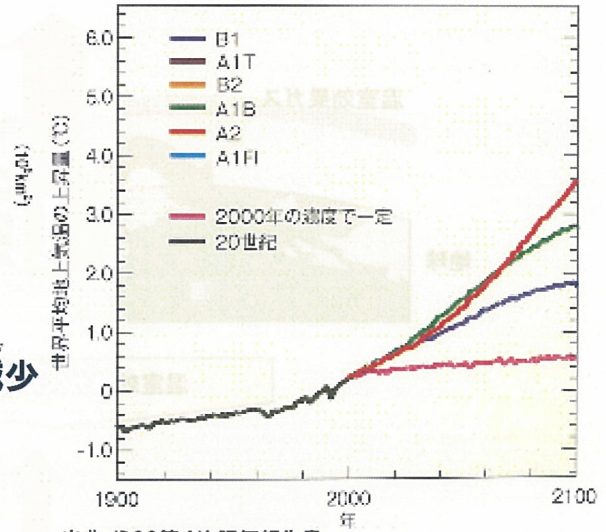
異常気象dataの例 と 2100年までの温度上昇予測



3~4月の積雪面積は80年間で2割程度減少



平均海面推移は、80年間で15cm上昇

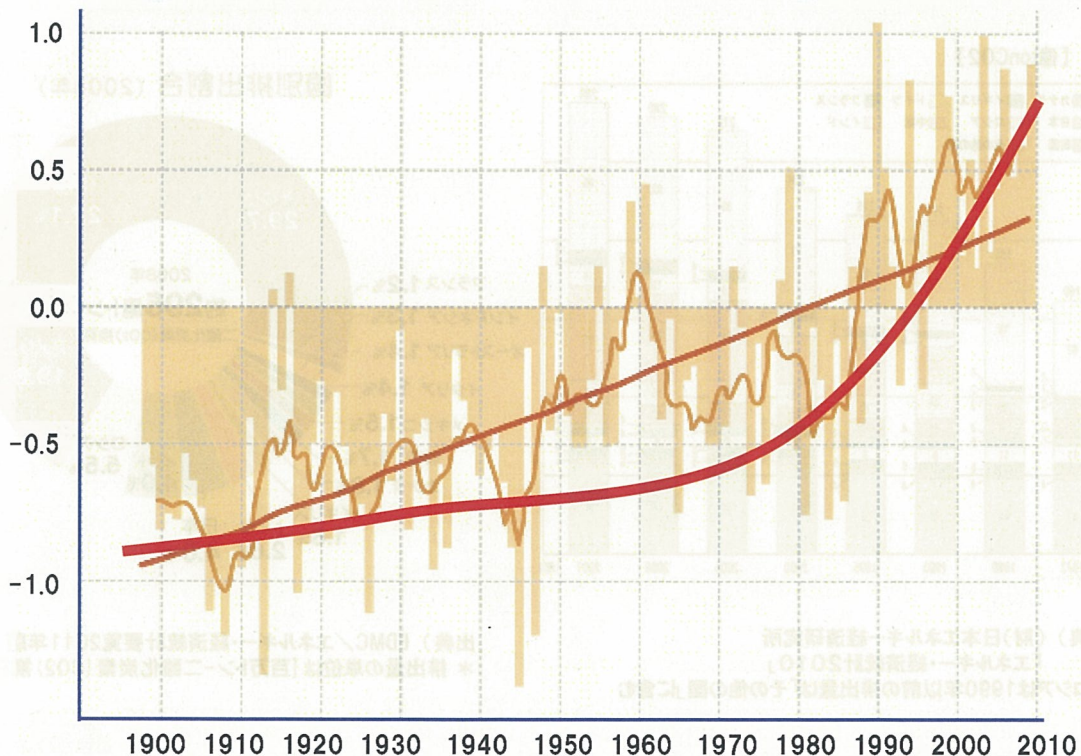


出典: IPCC第4次評価報告書

- 凡例
- A1: 高成長型社会
 - A1B: 化石燃料と非化石燃料のバランス型シナリオ。
 - A1F1: 化石エネルギー重視シナリオ。
 - A2: 多元化社会
 - A1T: 非化石エネルギー重視シナリオ。
 - B1: 持続的発展型社会
 - B2: 地域共存型社会

2100年には0.6~6.4°C上昇

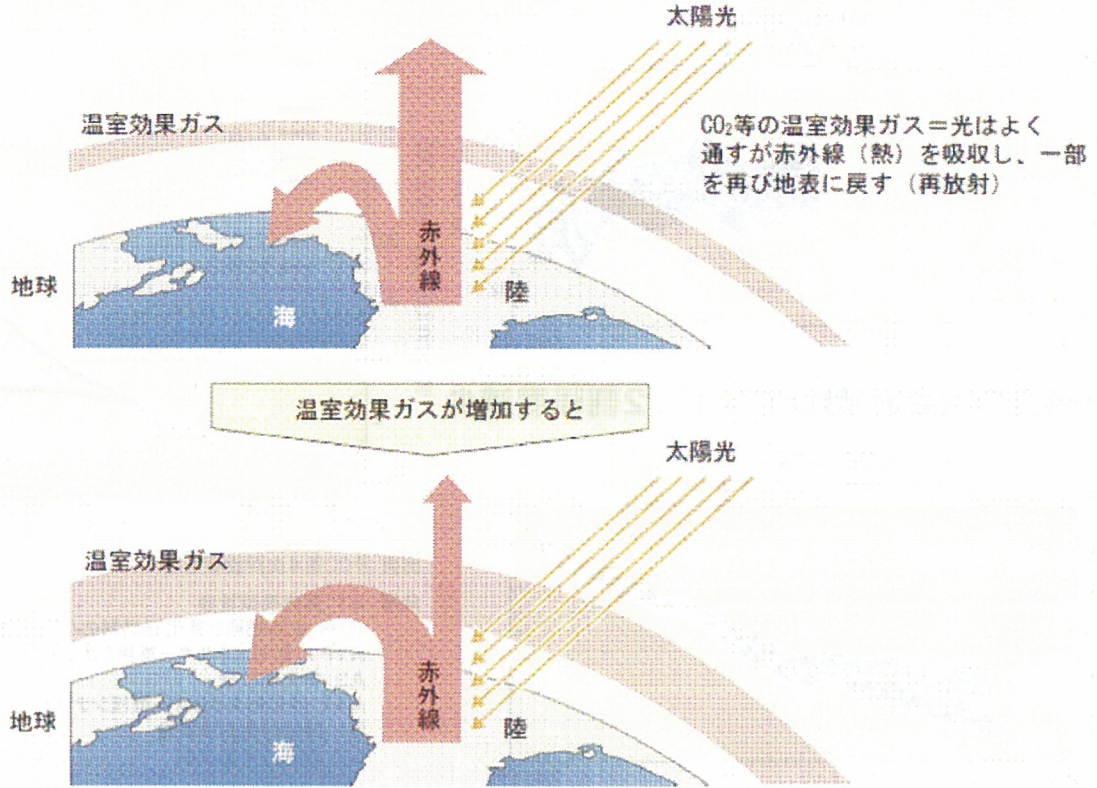
地球温暖化の現状—日本の年平均気温平年差



出典: 気象庁「気候変動監視レポート2010」

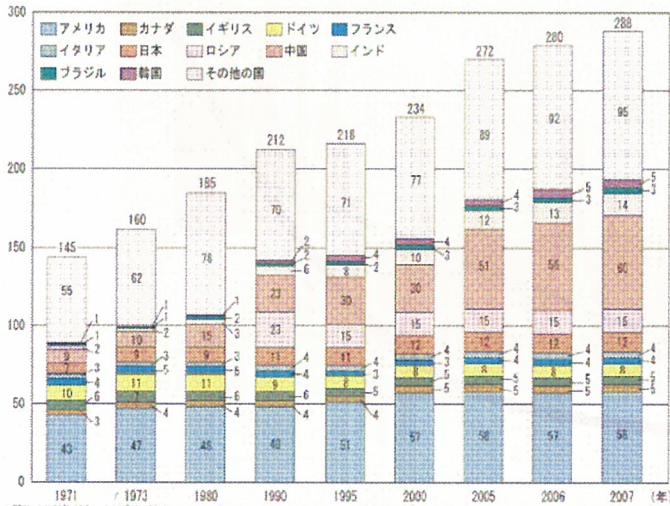
この100年間で、年平均気温は、世界は0.68°C、日本は1.13°Cの上昇

地球温暖化の現状－日本の年平均気温平年差

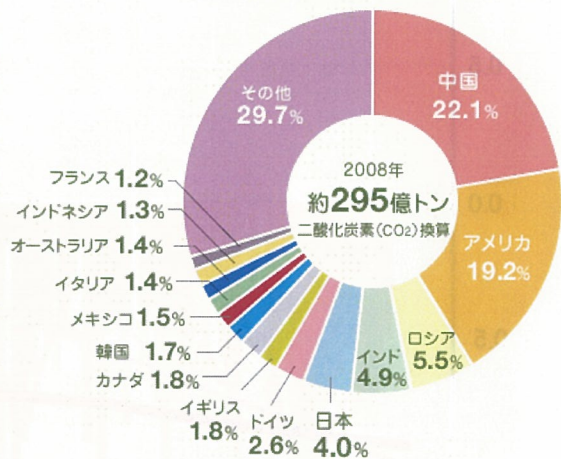


世界各国のCO₂排出量・国民一人当たりのCO₂排出量

CO₂排出量【億tonCO₂】



国別排出割合（2008年）



出典) (財)日本エネルギー経済研究所
「エネルギー・経済統計2010」
*ロシアは1990年以前の排出量は「その他の国」に含む

出典) EDMC/エネルギー・経済統計要覧2011年版
* 排出量の単位は[百万トン-二酸化炭素(CO₂)換算]

→全世界のCO₂排出量は、この40年間で約2倍に増加
→日本は国別排出量で第5位、国民一人当たりで第3位